

令和4年度

# 総会資料

チャレンジいばらき県民運動

# 目 次

1	報告事項	
	報告第1号	規約第12条第1項の規定に基づく専決処分について…………… 1
2	審議事項	
	第1号議案	令和3年度事業報告…………… 3
	第2号議案	令和3年度歳入歳出決算報告及び監査報告…………… 21
	第3号議案	令和4年度事業計画（案）…………… 24
	第4号議案	令和4年度歳入歳出予算（案）…………… 26
	第5号議案	役員の選任（案）について…………… 28
3	参考資料	
	資料1	規約…………… 30
	資料2	グループ設置要項…………… 33
	資料3	グループリーダー・アドバイザー会議設置要項…………… 35
	資料4	会員名簿…………… 36
	資料5	アドバイザー名簿…………… 40
	資料6	県民活動推進員名簿…………… 41
	資料7	地域活動員設置要綱…………… 42
	資料8	組織体系図…………… 43

## 規約第12条第1項の規定に基づく専決処分について

下記のとおり専決処分したので、チャレンジいばらき県民運動規約第12条第2項の規定に基づき、報告いたします。

### 記

チャレンジいばらき県民運動の令和3年度歳入歳出補正予算について、別記のとおり決定するものとする。

このことについては、総会が招集されるいとまがないことから、チャレンジいばらき県民運動規約第12条第1項の規定に基づき、専決処分する。

令和4年3月29日

チャレンジいばらき県民運動 理事長 阿部 真也

別記

## 令和3年度 歳入歳出補正予算

### 1 歳入の部

(単位：千円)

項目	当初予算額 (A)	補正予算額 (B)	最終予算額 (A + B)	備考
1 会費	2,778	△ 464	2,314	
(1) 会費	2,330	△ 100	2,230	会費未納
(2) 賛助金	448	△ 364	84	個人賛助会員の減 (△ 9 人)、賛助金未納
2 補助金	27,575	△ 3,000	24,575	
茨城県	27,575	△ 3,000	24,575	チャレンジいばらき県民運動補助事業の確定 (見込み) に伴う減
3 委託金	5,503	△ 179	5,324	
(1) 茨城県	5,303	△ 80	5,223	交流サルーン管理運営委託 (5,103 千円) 食を通じたエコライフ運動事業委託 (120 千円)
(2) あしたの日本を創る協会	200	△ 99	101	事業の確定 (見込み) に伴う減
4 共催金	1,200	0	1,200	
げんでんふれあい茨城財団	1,200	0	1,200	花いっぱい運動定着化促進事業
5 諸収入	600	△ 25	575	交流サルーン印刷機器等利用料の減、過年度収入
6 繰越金	4,850	△ 12	4,838	
計	42,506	△ 3,680	38,826	

### 2 歳出の部

(単位：千円)

項目	当初予算額 (A)	補正予算額 (B)	最終予算額 (A + B)	備考
1 県民活動事業費	16,700	△ 5,570	11,130	
(1) 幸せ人財育成サポート事業費	4,500	△ 604	3,896	・ 共助社会づくりフォーラム (500千円→20千円) ・ 共助社会づくりを実現するための人材活用 (4,000千円→3,876千円)
(2) 地域の幸せ力アップ事業費	3,700	△ 1,296	2,404	・ チャレいば助け合い隊応援事業 (2,200千円→916千円) ・ 花いっぱい運動定着化促進事業 (1,500千円→1,488千円)
(3) 幸せ発信力アップ事業費	5,900	△ 3,269	2,631	・ 県民運動PRのための啓発品 (3,850千円→851千円) ・ いばらき幸せ発信事業 (2,000千円→1,774千円) ・ 一人ひと自慢ひと幸せ発信運動 (50千円→6千円)
(4) ICT活用推進事業費	2,600	△ 401	2,199	・ ホームページリニューアル (2,000千円→1,426千円) ・ IT活用検討会 (50千円→23千円) ・ HP管理費 (550千円→750千円)
2 地域活動支援事業費	2,500	△ 1,086	1,414	・ 地域活動団体等情報発信事業 (150千円→27千円) ・ 若い世代とつくる新たな地域づくり (大学との連携費用) (850千円→11千円) ・ 地域活動サポート事業 (1,500千円→1,376千円)
3 NPO等連携協働事業費	7,400	△ 1,322	6,078	・ NPO等連携協働促進事業費 (300千円→183千円) ・ 団体連携事業費 (500千円→247千円) ・ 交流サルーン管理運営費 (6,600千円→5,648千円)
4 運営費	14,906	△ 61	14,845	
(1) 人件費	11,400	976	12,376	(専務理事1名+事務局3人分)
(2) 会議費等	400	△ 161	239	(グループ会議、理事会、研修費等)
(3) 管理費	3,106	△ 876	2,230	(賃貸料、消耗品、印刷製本費、電話代、郵送料等)
5 予備費	1,000	△ 1,000	0	
計	42,506	△ 9,039	33,467	

※歳入最終予算額-歳出最終予算額=繰越見込額 (※年度間調整費用)

5,359千円

## 令和3年度事業報告

(提案理由)

別記のとおり、令和3年度事業を報告し、議決承認を求めるものであります。

### <事業報告>

1 会務に関する事項	4
2 チャレンジいばらき県民運動の展開	7
(1) 「幸せ人財育成サポート」に関する事項	7
(2) 「地域の幸せ力アップ」に関する事項	8
(3) 「幸せ発信力アップ」に関する事項	9
(4) 「ICTを活用した県民運動の推進」に関する事項	10
(5) 県内地域における県民運動の推進	11

### <付属表>

別表1 市町村別地域活動員（ネットワークカー）委嘱者数	16
別表2 ネットワークカー等連絡協議会設立状況	17
別表3 市町村県民運動推進組織設立状況	18
別表4 令和3年度交流サルーンいばらき利用状況一覧	20
別表5 令和3年度チャレンジいばらき県民運動 後援事業一覧	20

## 令和3年度 事業報告

令和3年度は、共助による新しい茨城の実現に向けて、県民、NPO、団体、企業、大学、行政が連携しながら、地域課題に挑戦する県民の主体的な県民運動を推進しました。

### 1 会務に関する事項

#### (1) 総会（第28回）の開催

期 日	令和3年6月11日(金)
場 所	書面開催
出席数	会員230名中217名から書面表決書提出あり(賛成217名/反対0名)
議 事	報告第1号 規約第12条第1項の規定に基づく専決処分(令和2年度歳入歳出補正予算)について 第1号議案 令和2年度事業報告 第2号議案 令和2年度歳入歳出決算報告及び監査報告 第3号議案 令和3年度事業計画(案) 第4号議案 令和3年度歳入歳出予算(案) 第5号議案 規約の一部改正(案)について 第6号議案 役員の選任(案)について
結 果	いずれも原案承認又は可決

#### (2) 理事会の開催

##### 【第1回理事会】

期 日	令和3年5月28日(金)
場 所	書面開催
出席数	理事27名中27名から書面表決書提出あり(賛成27名/反対0名)
議 事	報告第1号 規約第12条第1項の規定に基づく専決処分(令和2年度歳入歳出補正予算)について 第1号議案 令和2年度事業報告 第2号議案 令和2年度歳入歳出決算報告及び監査報告 第3号議案 令和3年度事業計画(案) 第4号議案 令和3年度歳入歳出予算(案) 第5号議案 規約の一部改正(案)について 第6号議案 役員の選任(案)について
結 果	いずれも原案承認又は可決

##### 【第2回理事会】

期 日	令和4年3月29日(火) 13:30～14:35
場 所	茨城県三の丸庁舎 共用会議室A
出席数	理事26名中26名出席(委任状13名含む)
議 事	報告第1号 令和3年度事業執行状況 第1号議案 令和3年度歳入歳出補正予算(案) 第2号議案 令和4年度事業計画(案) 第3号議案 令和4年度歳入歳出予算(案) 第4号議案 チャレンジいばらき県民運動県民活動推進員の選任(案)について
結 果	いずれも原案承認又は可決

### (3) グループリーダー・アドバイザー会議

日 時	令和4年1月17日(月) 10:00～11:30
場 所	茨城県三の丸庁舎 共用会議室B
出席数	アドバイザー7名中2名、グループリーダー・サブリーダー9名中8名計10名出席
内 容	・新たに社会活動に参加してみたい方向けの事業方策について

#### 【個別相談】

○横須賀聡子アドバイザー（新しい共助社会づくり）

・身近な地域課題解決の担い手となる人財の活用について(令和3年5月25日・9月17日)

### (4) 県民活動推進員の活動

#### ア 県民活動推進員会議（全体会議）の開催

日 時	令和3年6月17日(木) 13:30～
場 所	茨城県三の丸庁舎（3F）茨城県水戸生涯学習センター大講座室
出席数	29名中22名出席
内 容	・令和3年度のグループ構成及び正副リーダーの決定 ・令和3年度事業計画の説明と意見交換

#### イ 各グループ会議の開催

##### 【地域活動支援グループ】

第1回	日 時	令和3年6月10日(木) 10:30～
	場 所	鹿嶋市役所
	出席数	25名中1名出席
	内 容	県民運動における新たな共助事業の検討
第2回	日 時	令和3年6月12日(土) 10:00～
	場 所	行方市（旧みずまるレストラン）
	出席数	25名中2名出席
第3回	日 時	令和3年6月14日(月) 13:00～
	場 所	五霞町役場
	出席数	25名中1名出席
第4回	日 時	令和3年6月18日(金) 13:30～
	場 所	筑西市役所
	出席数	25名中1名出席
第5回	日 時	令和3年6月21日(月) 14:00～
	場 所	阿見町役場
	出席数	25名中2名出席
第6回	日 時	令和3年6月22日(火) 13:30～
	場 所	常陸大宮市役所
	出席数	25名中2名出席
第7回	日 時	令和3年6月24日(木) 13:30～
	場 所	守谷市役所
	出席数	25名中2名出席
	内 容	県民運動における新たな共助事業の検討

第8回	日 時	令和3年6月24日(木) 14:00～
	場 所	ひたちなか市役所
	出席数	25名中3名出席
	内 容	県民運動における新たな共助事業の検討
第9回	日 時	令和3年6月25日(金) 10:00～
	場 所	笠間市地域交流センターいわま
	出席数	25名中3名出席
第10回	内 容	県民運動における新たな共助事業の検討
	日 時	令和3年6月25日(金) 14:00～
	場 所	小美玉市役所玉里総合支所
	出席数	25名中2名出席
第11回	内 容	県民運動における新たな共助事業の検討
	日 時	令和3年6月29日(火) 13:00～
	場 所	太子町中央公民館
	出席数	25名中1名出席
第12回	内 容	県民運動における新たな共助事業の検討
	日 時	令和3年10月18日(月)
	場 所	つくば市豊里交流センター
	出席数	11名中2名出席
	内 容	企業や大学との連携・協働事業に向けた意見交換

#### 【魅力発見・発信グループ】

第1回	日 時	令和3年7月28日(水) 10:00～11:30
	場 所	茨城県三の丸庁舎 共用会議室B
	出席数	6名中4名出席
	内 容	・「ちゃれいばレター VOL.9 (11月発行)」掲載内容の検討
第2回	日 時	令和3年11月15日(月) 10:00～12:00 * IT活用グループ会議と同時開催
	場 所	茨城県三の丸庁舎 (2F) 交流サロoonいばらき会議室
	出席数	7名中7名出席
	内 容	・「ちゃれいばレター VOL.10 (3月発行)」掲載内容の検討 ・「ふるさと自慢」について検討
第3回	日 時	令和4年3月7日(月) 10:00～11:30
	場 所	茨城県三の丸庁舎 (2F) 交流サロoonいばらき会議室
	出席数	6名中6名出席
	内 容	・次年度作成の広報紙掲載内容の検討

#### 【IT活用グループ】

第1回	日 時	令和3年7月28日(水) 11:30～12:30
	場 所	茨城県三の丸庁舎 (2F) チャレンジいばらき県民運動事務室内
	出席数	5名中3名出席
	内 容	・ホームページのリニューアルについて意見交換
第2回	日 時	令和3年11月15日(月) 10:00～12:00 * 魅力発見・発信グループ会議と同時開催
	場 所	茨城県三の丸庁舎 (2F) 交流サロoonいばらき会議室内
	出席数	5名中2名 (グループリーダー・サブリーダー) 出席
	内 容	・「ふるさと自慢」について検討



## 2 チャレンジいばらき県民運動の展開

### (1) 「幸せ人財育成サポート」に関する事項

共助による新しい茨城づくりの実現に向けて「コミュニティワーク実践講座」を開講し、身近な地域課題解決の担い手となる人財の育成に努めました。

#### ア コミュニティワーク実践講座の開催

共助の推進に向けて、身近な地域課題の解決を支援する人財を養成するための連続講座「コミュニティワーク実践講座」を実施しました。

##### 【第1回講座】

日 時	令和3年10月24日(日) 10:00～17:00
会 場	オンライン開催
内 容	○オリエンテーション NPO法人代表 横須賀 聡子氏 ○講義：「コミュニティワーカーとは何か I・II」 ○講師：一般社団法人ジェイス代表理事・臨床心理士 武田 信子氏
受講者	14人

##### 【第2回講座】

日 時	令和3年11月7日(日) 13:00～17:00
会 場	オンライン開催
内 容	○講義：「市民性の向上と支援」 ○講師：NPO法人事務局長 斎 典道氏 ○講義：「傾聴とアセスメント」 ○講師：社協職員・ソーシャルワーカー 根本 真紀氏
受講者	16人

##### 【第3回講座】

日 時	令和3年11月21日(日) 10:00～17:00
会 場	オンライン開催
内 容	○講義：「ファシリテーション I・II・III」 ○講師：看護師・認定ワークショップデザイナー 浦山 絵里氏
受講者	15人

##### 【第4回講座】

日 時	令和3年12月11日(土) 10:00～17:00
会 場	オンライン開催
内 容	○講義：「地域をつなぐ」 ○講師：NPO法人理事・大学教員 西川 正氏 ○講義：「交渉・行政との協働」 ○講師：NPO法人代表 松田 妙子氏 NPO法人代表 横須賀 聡子氏
受講者	14人

##### 【交流会】

日 時	令和4年3月6日(日) 13:30～16:00
会 場	茨城県労働福祉会館(5F) 会議室(ハイブリット開催)
内 容	○講座受講修了書交付(※令和3年度修了生16人) ○講義：「コミュニティワーク実践にあたって」 ○講師：一般社団法人ジェイス代表理事・臨床心理士 武田 信子氏 ：NPO法人代表 横須賀 聡子氏 ○活動報告
受講者	14人(うちオンライン参加8人)

### 【フォローアップ講座】

令和元・2年度実践講座修了者を対象に、修了者の活動支援のためフォローアップ講座を開催しました。

日 時	令和3年10月17日(土) 15:00～16:30
場 所	オンライン開催
内 容	ワークショップ「活動上の課題について」

### 【現地研修】

受講生が各自で研修を企画し、地域のリサーチと分析、地域課題発見・解決のためのヒアリングなど、コミュニティワークの手法を実際の現場等において実践しました。

### イ 共助社会づくりフォーラムの開催

令和4年2月17日(木)行方市文化会館にて、「SDGs推進に向けて～私たちが出来ること～」をテーマとした共助社会づくりフォーラムを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、中止となりました。

## (2) 「地域の幸せカアッ」に関する事項

### ア 県民運動における新たな共助事業の検討【新規】

地域において「共助」への取組をしている市町村団体及びネットワークー連絡協議会等に対しヒアリングを行い、県民運動として新たな共助事業を連携・協働して取り組めないか検討しました。

- ・ヒアリング回数 計12回(訪問時期:令和3年6月)
- ・ヒアリング対象 12市町のネットワークー連絡協議会、市町職員

### イ チャレいば助け合い隊応援事業の実施【新規】

行政だけでは十分に対応出来ない課題が増えてきていることから、一人ひとりが地域の担い手として、課題を解決していけるようなコミュニティづくりを推進するため、申請のあったネットワークー等協議会等5団体に対し、助成を行いました。

【補助対象者】 ネットワークー等協議会、複数の地域活動員から編成されるグループ、ネットワークー等連絡協議会が推薦するボランティア団体等

【補助金額】 20万円以内

【対象経費】 事業実施のための経費

#### 【実績】

団 体 名	助 成 対 象 事 業 名
利根町ネットワークー協議会	・環境美化保全及び障害者自立支援
瓜連地区まちづくり委員会 古徳沼の自然を守る会	・継続的な古徳沼・里山の環境保全活動とハクチョウ飛来最南端の地である古徳沼の広報活動
茨城町ネットワークー等連絡協議会	・涸沼周辺クリーン作戦
下妻市ネットワークー等連絡協議会	・スキルアップ研修“スマホ講座”
県西フードパントリー	・フードパントリーの試行 (生活困窮世帯向け支援対策)

### ウ 令和3年度花いっぱい運動定着化促進事業の実施(公益財団法人げんでんふれあい茨城財団共催事業)

花づくりを通じた地域コミュニティの再生・活性化を図るとともに、花いっぱい運動がさらに定着し、発展していくきっかけとなることを目的に実施しました。

#### 【応募状況】

・市町村を通じて募集要項を広く配布したほか、ホームページ等での広報を実施し、令和3年6月25日から9月30日にかけて募集を行ったところ、54の団体・学校から応募がありました。

#### 【審査】

- ・令和3年10月19日に「花いっぱい運動定着化促進事業審査委員会（委員5名。委員長：学識経験者・櫻井茂幸氏）」を開催し、24の団体・学校を認定団体として選考しました。
- ・この事業により認定された団体には、花壇づくりに必要な経費を助成し、花いっぱい運動の拡大と花壇づくりを通しての地域コミュニティ活性化のきっかけづくり、さらには、活動報告を3年間継続して提出していただくことにより、花いっぱい運動の定着化につなげました。

#### 【参考：地区別内訳】

	県央	県北	鹿行	県南	県西	合計
応募数	16	6	2	24	6	54
認定数	7	3	2	9	3	24

#### 【認定証交付式】

日時	令和3年11月30日(火) 13:00～15:30
会場	茨城県三の丸庁舎（3F）茨城県水戸生涯学習センター大講座室
内容	○令和3年度花いっぱい運動定着化促進事業認定証交付
参加者	49人

### エ 企業や大学との連携・協働

各地域が抱える身近な地域課題の発見や解決に向けて、市町村ネットワーク協議会と大学を連携・仲介し、新たな連携協働事業の実施に向け検討していましたが、事業開催は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となりました。

#### 【第1回】

日時	令和3年9月6日(月)
会場	オンライン開催
内容	○つくば市ネットワークの会、TSSボランティアTRICOLOR（常磐大学・常磐短期大学）との事業検討
参加者	6人

#### 【第2回】

日時	令和3年10月18日(月)
会場	つくば市豊里交流センター
内容	○つくば市ネットワークの会、TSSボランティアTRICOLOR（常磐大学・常磐短期大学）との事業に向けた意見交換
参加者	20人

### (3) 「幸せ発信力アップ」に関する事項

地域で活躍する人、伝統文化、豊かな自然など本県の素晴らしい資源を発掘し、ふるさと茨城をより一層自慢できるよう、魅力度アップに向け広報活動に努めました。

#### ア 広報紙「ちゃれいばレター」の発行

チャレンジいばらき県民運動の活動や地域で取り組まれている様々な活動を紹介する広報紙を3回発行し、県民運動の広報活動に努めました。

#### 【「チャレいばレター」の発行】

	発行月	発行部数	主な掲載内容
vol. 8	7月	6,000部	地域活動員（ネットワーカー）の活動紹介、提案型共助社会づくり支援事業、交流サルーンいばらきの紹介など
vol. 9	11月	6,000部	ネットワーカー等連絡協議会代表者会議、県民活動推進員会議、県内各地の共助活動紹介など
vol.10	3月	6,000部	チャレいば助け合い隊応援事業、寺子屋サルーン、県内各地の共助活動紹介、メルマガ登録案内など

#### イ インターネットによる各種情報の配信

各種ツールを活用し、チャレンジいばらき県民運動や交流サルーンいばらきが開催する講座・イベント情報、ネットワーカー等連絡協議会の活動情報のほか、地域活動団体向けの各種助成金など関連情報を配信し、周知・広報に努めました。

○ホームページアクセス数：72,526件

#### ウ ふるさと自慢の情報収集

県内各地域において、あまり知られていない、地元ならではの魅力ある地域情報を発信し、県民の地域への愛着度を高め、地域を活性化するため、県民活動推進員及び各ネットワーカー等連絡協議会に情報提供を呼びかけ、投稿があった11市町22件の「ふるさと自慢」をホームページで紹介しました。

#### エ 市民活動団体の情報提供

市民活動団体同士のマッチング、ボランティア活動希望者とボランティア募集团体のマッチングを図るため、市民活動団体検索データベースをチャレンジいばらき県民運動ホームページに開設し、情報提供を行いました。

### (4) 「ICTを活用した県民運動の推進」に関する事項

#### ア ホームページリニューアル

昨年度の県民運動プロジェクトチーム（「魅力発見・発信県民運動」、「IT活用県民運動」）の「SNSによる情報発信強化が必要」との提言を受け、ホームページのリニューアルを行い、チャレンジいばらき県民運動の認知度の向上を図りました。

【リニューアル時期】令和3年10月11日から

【主な変更点】

- ・より分かりやすく使いやすいホームページを目指し、デザインやページの構成全体の見直しを行いました。
- ・県民誰もが気軽に地域活動に参加できるよう、県内外の助成金情報や、ボランティア等各種募集情報、講座・イベント開催情報、寄付金・募金募集情報等をできるだけ多く収集し、その情報を一覧できるページを新設しました。
- ・地域活動に役立つ情報や、県内の地域活動・事業等の情報提供フォームを設置しました。

#### イ 地域活動投稿フォームによる情報収集・掲載

チャレンジいばらき県民運動のホームページ上に投稿フォームを設け、県内各地域の活動情報や地域活動員（ネットワーカー）の活動情報を収集し、掲載しました。

#### ウ メールマガジンの配信【新規】

チャレンジいばらき県民運動からのお知らせや地域活動情報を随時発信することにより、社会活動への参加を促進するため、メールマガジンの配信を始めました。

配信開始日		令和4年1月6日
令和3年度 配信状況	登録者数	193件
	発行頻度	月1回
	掲載内容	○チャレンジいばらき県民運動、交流サルーンいばらきからのお知らせ ○地域活動員（ネットワーカー）へのお知らせ ○主催講座・イベント情報 ○地域活動情報 <他団体提供情報> ①助成金情報、②各種募集情報、③講座・イベント情報、 ④寄付・募金情報 ほか <取り組み・活動紹介> ①会員企業・団体の取り組み ②地域活動員（ネットワーカー）の活動 ほか

## エ Web会議システム（Zoom）を活用した取材

Web会議システム（Zoom）を活用し、市民活動団体等への広報紙取材を行い、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止と業務の効率化を図りました。（全3回）

## （5）県内地域における県民運動の推進

### ア NPO等の活動支援

NPO等の活動支援、団体・企業・行政とNPOとの連携・協働を推進しました。

#### ①交流サルーンいばらきの管理・運営

NPOやボランティア団体などの社会貢献活動を支援するため、講座の開催、会議室の無料開放、印刷機器の低料金化など、利用環境を整備し、広く利用促進を図りました。

【交流サルーンいばらきの利用状況（詳細は別表4参照）】

開設日	平成11年11月11日	
令和3年度 利用状況	開館日数	246日
	利用者数	4,040人（1日平均16.4人）
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年8月6日から9月30日まで休館 ※開設からの累計利用者数217,958人／開館日数6,216日／1日平均35.1人		

#### ②講座の開催

NPOや地域活動団体が、主体的に学習し交流するための小規模な学び合いの場となる「寺子屋サルーン」を3回開催しました。

第1回 <通算> 25回目	日時	令和3年12月19日(日) 13:00～16:00
	会場	交流サルーンいばらき フリースペース（ハイブリット開催）
	内容	○テーマ：「オンラインサロンづくりの第一歩」 ○講師：UDワーク 前田 亮一氏
	参加者	8人（うちオンライン1人）
第2回 <通算> 26回目	日時	令和4年2月13日(日) 13:00～16:00
	会場	交流サルーンいばらき フリースペース
	内容	○テーマ：「地域活動×オンライン講座」 ～Facebookページを活用しよう～ ○講師：For Everyone Study 植竹 智央氏
	参加者	9人

第3回 ＜通算＞ 27回目	日 時	令和4年2月27日(日) 13:00～16:00
	会 場	交流サルーンいばらき フリースペース
	内 容	○テーマ：「地域活動×オンライン講座」 ～LINEグループを活用しよう～ ○講 師：For Everyone Study 植竹 智央氏
	参加者	9人

### ③市民活動団体の情報提供（再掲）

市民活動団体同士のマッチング、ボランティア活動希望者とボランティア募集团体のマッチングを図るため、市民活動団体検索データベースをチャレンジいばらき県民運動ホームページに開設し、情報提供を行いました。

### ④交流サルーンいばらきのPR

交流サルーンいばらきの利用促進を図るため、リーフレットを活用した周知に努めました。

### ⑤NPO等連携協働促進事業

皆が共に助け合い、支え合う「共助社会づくり」を推進するため、フォーラムやセミナー等を開催しました。

#### 【地域円卓会議 in 茨城 2022】

日 時	令和4年2月1日(火) 13:00～
会 場	オンライン開催
内 容	○テーマ 福祉的な住まいの共有を広げよう ○登壇者 国土交通省 住宅局 安心居住推進課 課長補佐 山口 秀太氏 株式会社ギルドセキュリティ 代表取締役社長 長田 健太郎氏 大牟田市居住支援協議会 事務局長 牧嶋 誠吾氏 NPO法人いろり 代表 木本 一颯氏 追手門学院大学地域創造学部 准教授 葛西 リサ氏 ○コーディネーター NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ 代表理事 横田 能洋氏
申込者	92人

#### 【NPO組織基盤強化セミナー】

期 日	令和3年10月5日(火)	10月12日(火)	10月19日(火)
会 場	水戸市福祉ボランティア会館	県南生涯学習センター	県西生涯学習センター
参加者	18人	12人	9人
内 容	○NPO法人会計基準とその改正内容、会計・税務・労務・総務 等 ○講師：NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ 常務理事・事務局長 大野 覚氏		

#### 【NPO法人設立説明会】

期 日	令和3年10月21日(木)・11月17日(水)・12月2日(木)
会 場	交流サルーンいばらき会議室（ハイブリット開催）
参加者	30人（うちオンライン22人）
内 容	○NPO法人制度の概要、設立申請手続 等 ○講 師：NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ 常務理事・事務局長 大野 覚氏

期 日	令和4年2月5日(土)
会 場	オンライン開催
参加者	12人
内 容	○NPO法人制度の概要、設立申請手続 等 ○講 師：NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ 常務理事・事務局長 大野 覚氏

#### ⑥地域活動団体定期相談会事業【新規】

県内において地域活動に取り組もうとする、若しくは取り組んでいる者が主体的かつ円滑に事業を進めていくことができるよう、定期相談会を開催しました。

##### 【チャレいば地域活動団体等相談会】

第1回	日 時	令和3年12月11日(土) 13:30～14:30
	会 場	オンライン開催
	相談実績	1件(オンライン)
第2回	日 時	令和3年12月16日(木) 13:30～17:00
	会 場	交流サルーンいばらき 会議室
	相談実績	3件(うちオンライン2件)
第3回	日 時	令和4年1月20日(木) 13:30～17:00
	会 場	交流サルーンいばらき 会議室
	相談実績	2件(うちオンライン2件)
第4回	日 時	令和4年2月24日(木) 13:30～17:00
	会 場	交流サルーンいばらき 会議室
	相談実績	3件(うちオンライン1件)
第5回	日 時	令和4年3月17日(木) 16:00～17:00
	会 場	交流サルーンいばらき 会議室
	相談実績	1件(対面)
相談員	NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ 常務理事・事務局長 大野 覚氏 コーディネーター 伊東 輝実氏	

#### イ 地域活動員（ネットワーカー）による県民運動の推進

地域活動員及び市町村との連携を密にし、県民運動の地域への浸透を推進しました。

##### ①令和3年度地域活動員（ネットワーカー）委嘱状交付式 ※中止

日 時	令和4年2月17日(木)
会 場	行方市文化会館 ホール
※令和3年度新規委嘱地域活動員：14人 ＜参考＞ 地域活動員総数：787人(令和4年3月31日現在) ※市町村別内訳は別表1のとおり	

##### ②ネットワーカー活動推進大会の開催

県内各地において地域活動を実践し、県民運動の普及に努めている地域活動員「ネットワーカー」が、大会を通じて研鑽と交流を深めることにより、今後の地域活動の活性化につなげるために開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となりました。

日 時	令和4年2月17日(木) ※中止
会 場	行方市文化会館 ホール

### ③ネットワーク等連絡協議会代表者会議の開催

ネットワーク等連絡協議会とチャレンジいばらき県民運動との連携強化を図る目的で開催しました。

日時	令和3年7月16日(金) 13:30～15:30
会場	水戸プラザホテル(1F) ガーデンルーム
内容	○令和3年度チャレンジいばらき県民運動の事業内容等説明 ○講演「暮らしを守る自主防災」～共助の視点から～ 講師：茨城県防災・危機管理部 防災・危機管理課 森田 孝氏 ○5ブロック(県北・県央・鹿行・県南・県西)ごとの意見交換
参加者	70人

### ④市町村ネットワーク等連絡協議会への助成

県内各地において地域活動を実践し、県民運動の普及に努めているネットワークの活動を支援するため、32の市町村ネットワーク等連絡協議会に対し助成を行いました。

## ウ 団体等との連携の促進

各種団体や企業、行政との連携を強化し、チャレンジいばらき県民運動の一層の推進に努めました。

### ①地域コミュニティ活動の推進

あいさつ・声かけ運動などによりコミュニケーションの輪を広げ、地域コミュニティの活性化や地域コミュニティのネットワークの強化を図りました。

#### 【あいさつ・声かけ運動】

家庭、学校、地域で、大人と子ども・大人同士・子ども同士のコミュニケーションの輪を広げ、地域住民の連帯感の醸成を図るため、公益社団法人茨城県青少年育成協会を中心に連携して、全県的な運動を展開しています。

11月及び2月に、県内各地において「あいさつ・声かけ運動街頭啓発」を実施しました。

11/5(金) 新鉾田駅

11/10(水) 下館駅

11/14(日) ケーズデンキスタジアム水戸

2/5(土) アダストリアみとアリーナ

### ②水質浄化運動の推進

プラスチックごみによる海洋汚染問題が大きくクローズアップされており、オリジナルのエコバッグを配布するなど、マイバッグ運動を推進しております。

毎年実施している「ひぬま流域クリーン作戦」及び「霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦拠点地区事業」は、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、中止となりました。

### ③他団体への後援

他の団体が行う活動で、県民運動の趣旨に合致し、県民運動の推進に寄与するものについて、後援を行いました。

#### 【後援名義使用承認件数】

分野	団体数	分野	団体数
青少年育成関連	2	まちづくり	1
環境関連	1	芸術、文化、スポーツ関連	1
福祉関連	1	その他	1
		合計	7



#### ④会員数の推移

各種会議、広報紙やホームページまた、企業訪問等により新規会員の募集に努めました。

	R3年3月末現在	新規	退会	R4年3月末現在
団体	231	5	3	233
個人	224	3	15	212

#### エ 生活学校との連携・協働

地球温暖化や廃棄物問題など年々深刻化する地球規模での環境問題を解決するため、茨城県生活学校連絡会などと連携し、県民一人ひとりが“もったいない”の気持ちを大切にし、家庭や地域、学校、職場など様々な場において、省エネルギー・省資源・4Rなどの環境保全のための実践活動に取り組む「エコライフ運動」を推進しました。

##### ①食を通じたエコライフ運動の実施

県民一人ひとりが身近な食を通して、環境に対する理解を深め、家庭や地域など様々な場面において環境に配慮したライフスタイルの普及・推進に努めました。

##### 【食を通じたエコライフについて学ぶ勉強会】

第1回	日時	令和3年5月24日(月) 13:00～
	会場	茨城県三の丸庁舎(3F) 共用会議室
	内容	○講演会「生産者から見える食品ロス(廃棄食材)について～SDGs(持続可能な開発目標)に農業はどうかかわるの!!～」 講師：JAなめがたしおさい女性部長 原 範子氏
	参加者	35人
第2回	日時	令和3年10月21日(木) 13:00～
	会場	ひたちなか市市毛公民館
	内容	○食品ロス料理講習 講師：(株)クッキングスクールネモト 根本 悦子氏
参加者	21人	
第3回	日時	令和3年11月16日、11月26日、12月6日、12月21日、令和4年1月26日、3月9日
	会場	小川保健相談センター他5会場
	内容	○エコクッキング教室 ・食べ切り・使い切り料理(廃棄食材を少なくするためのアイデア料理)の推進について ・調理実習
参加者	76人	

##### ②4R実践活動の推進

茨城県生活学校連絡会と連携し、イベント等を通じてエコライフ登録団体等に対して4R実践活動を推進しました。

- ・県庁(2階県民ホール)でのパネル展示
- ・古布、牛乳パック等を使った小物作り
- ・地産地消フードマイレージ、エコクッキングの推進普及活動

4R	Reduce (リデュース)	ゴミを減らす
	Reuse (リユース)	繰り返し使う
	Recycle (リサイクル)	資源として再利用する
	Refuse (リヒューズ)	いらぬものは断る

別表1

## 市町村別地域活動員（ネットワーク）委嘱者数

令和4年3月31日現在

市町村名	R3.3.31 現在	R4.3.31 現在	増減	市町村名	R3.3.31 現在	R4.3.31 現在	増減	
水戸市	31	28	-3	筑西市	60	59	-1	
日立市	18	16	-2	坂東市	20	20	0	
土浦市	14	14	0	稲敷市	3	1	-2	
古河市	16	12	-4	かすみがうら市	7	3	-4	
石岡市	5	5	0	桜川市	9	8	-1	
結城市	23	19	-4	神栖市	34	31	-3	
龍ヶ崎市	3	3	0	行方市	35	33	-2	
下妻市	31	27	-4	鉾田市	4	2	-2	
常総市	27	28	1	つくばみらい市	2	0	-2	
常陸太田市	8	6	-2	小美玉市	18	18	0	
高萩市	12	8	-4	東茨城郡	茨城町	10	11	1
北茨城市	15	15	0		大洗町	49	47	-2
笠間市	53	51	-2		城里町	10	8	-2
取手市	11	2	-9	那珂郡	東海村	12	11	-1
牛久市	21	20	-1	久慈郡	大子町	10	8	-2
つくば市	22	20	-2	稲敷郡	美浦村	24	20	-4
ひたちなか市	26	26	0		阿見町	44	37	-7
鹿嶋市	14	13	-1		河内町	2	2	0
潮来市	21	23	2	結城郡	八千代町	8	7	-1
守谷市	27	27	0	猿島郡	五霞町	16	16	0
常陸大宮市	25	23	-2		境町	11	10	-1
那珂市	13	12	-1	北相馬郡	利根町	42	37	-5
				合計	866	787	-79	

内訳 新規委嘱 14  
解職 93

別表2

## ネットワーク等連絡協議会設立状況

令和4年3月31日現在

No.	市町村名	協議会名称	会員数	設立年月日
1	水戸市	水戸市ネットワーク等連絡協議会	26	平成22年9月11日
2	日立市	大好きひたちネットワーク	15	平成17年5月21日
3	土浦市	土浦市ネットワーク等連絡協議会	14	平成12年3月29日
4	古河市	古河市ネットワーク等連絡協議会	1	平成19年9月23日
5	石岡市	石岡市ネットワーク活動連絡協議会	5	平成14年6月19日
6	結城市	結城市ネットワーク等連絡協議会	17	平成14年1月30日
7	龍ヶ崎市	ネットワークドラゴンズ	－	平成15年11月13日
8	下妻市	下妻市ネットワーク等連絡協議会	27	平成18年4月12日
9	常総市	ネットワーク常総	27	平成21年5月10日
10	常陸太田市	おおたネットワーク	5	平成19年6月13日
11	高萩市	高萩ネットワーク連絡協議会	7	平成30年5月18日
12	北茨城市	大好き北茨城ネットワーク協議会	15	平成14年11月7日
13	笠間市	チャレンジかさまネットワーク連絡協議会	51	平成18年5月15日
14	牛久市	牛久市ネットワーク連絡協議会	20	平成10年10月9日
15	つくば市	つくば市ネットワークの会	20	平成14年3月25日
16	ひたちなか市	ひたちなか市ネットワーク連絡協議会	23	平成23年7月29日
17	鹿嶋市	ネットワークかしま	13	平成12年1月17日
18	潮来市	潮来市ネットワーク連絡協議会	23	平成15年10月2日
19	守谷市	守谷市ネットワーク連絡協議会	27	平成15年11月15日
20	常陸大宮市	常陸大宮市ネットワーク協議会	23	平成19年8月10日
21	那珂市	那珂市ネットワーク連絡協議会	12	平成17年5月17日
22	筑西市	筑西市ネットワーク協議会	59	平成18年5月18日
23	坂東市	坂東市ネットワーク連絡協議会	20	平成17年6月3日
24	稲敷市	新利根町ネットワーク等連絡協議会	－	平成10年9月24日
25	かすみがうら市	霞ヶ浦地区ネットワーク等連絡協議会	－	平成10年10月21日
26	桜川市	桜川市ネットワーク協議会	8	平成19年6月16日
27	神栖市	ネットワークかみす	31	平成19年11月29日

No.	市町村名	協議会名称	会員数	設立年月日
28	行方市	なめがたネットワーカー連絡協議会	32	平成27年11月19日
29	銚田市	銚田市ネットワーカー等連絡協議会	—	平成10年10月9日
30	小美玉市	小美玉ネット	18	平成18年11月13日
31	茨城町	茨城町ネットワーカー等連絡協議会	9	平成15年11月22日
32	大洗町	大洗町ネットワーカー等連絡協議会	47	平成27年11月20日
33	城里町	チャレンジしろさと	8	平成28年10月28日
34	東海村	東海村ネットワーカー協議会	11	平成16年3月22日
35	大子町	大子町ネットワーカー協議会	8	平成20年4月24日
36	美浦村	大好き美浦村ネットワーカー協議会	20	平成20年4月5日
37	阿見町	阿見町ネットワーカー協議会	37	平成20年7月22日
38	八千代町	八千代町ネットワーカー等連絡協議会	7	平成14年9月20日
39	五霞町	五霞町ネットワーカー連絡協議会	16	平成10年10月19日
40	境町	境町ネットワーカー等連絡協議会	10	平成10年3月4日
41	利根町	利根町ネットワーカー協議会	37	平成11年10月26日

別表3

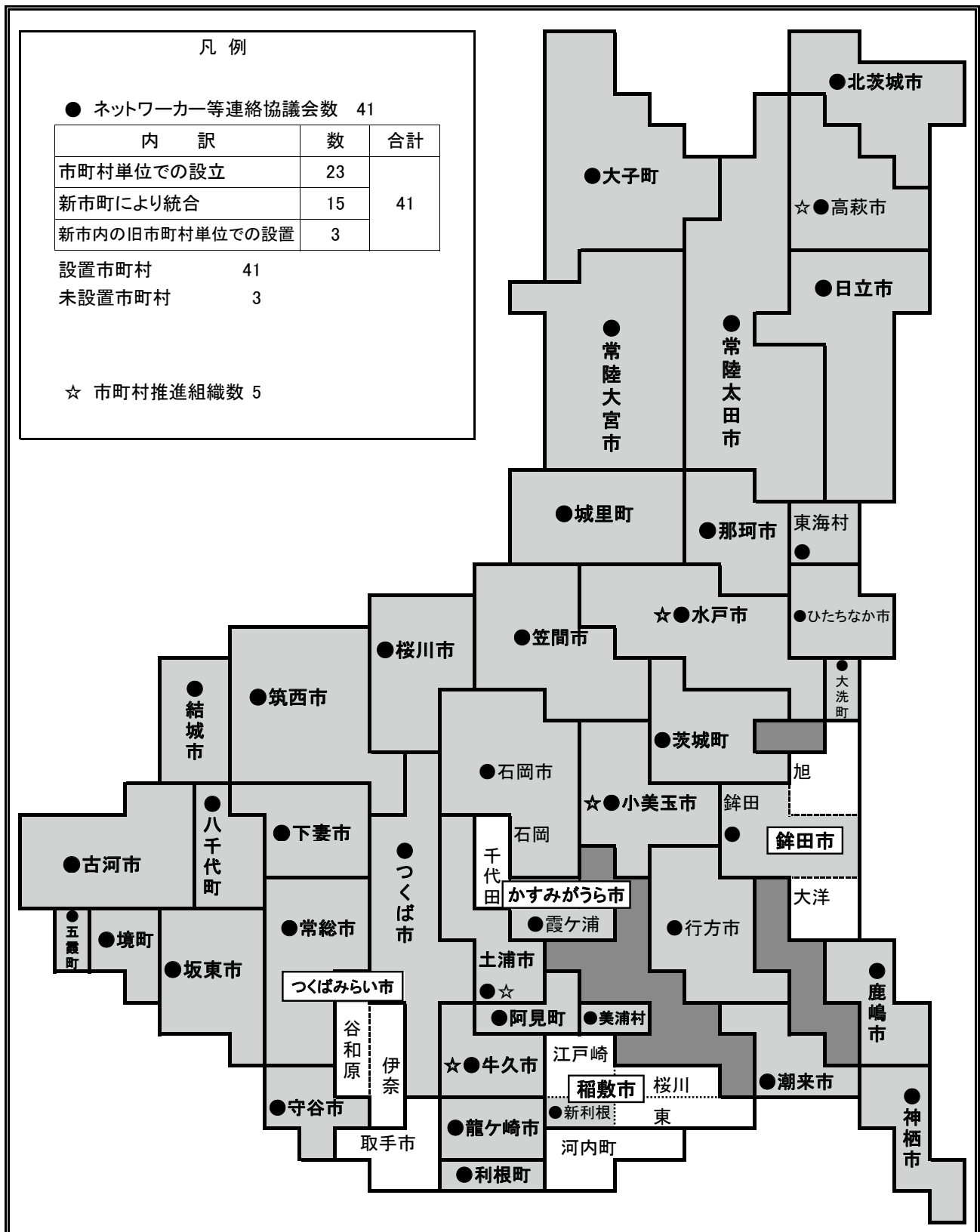
## 市町村県民運動推進組織設立状況

令和4年3月31日現在

No.	市町村名	協議会名称	設立年月日
1	水戸市	水戸市住みよいまちづくり推進協議会	平成8年度
2	土浦市	土浦市まちづくり市民会議	平成14年度
3	高萩市	高萩市市民憲章推進協議会	平成15年度
4	牛久市	ふれあい美花市民の会	平成16年度
5	小美玉市	小美玉市まちづくり組織連絡会	平成12年度

# ネットワーク等連絡協議会及び市町村推進組織設立状況

令和4年3月31日現在



別表4

## 令和3年度交流サーूनいばらき利用状況一覧

	開館 実日数	来訪・利用者		内 訳					
				会 議 室		印刷機		パソコン 利用者数	インターネット アクセス件数
		総人員	1日平均	利 用 団体数	利用者数	利 用 団体数	印刷枚 数		
4月	25	538	21.5	29	201	55	74,649	17	4,809
5月	25	463	18.5	30	182	34	35,722	16	4,878
6月	25	464	18.6	32	207	41	63,611	14	5,437
7月	25	369	14.8	29	191	33	27,208	8	6,654
8月	4	74	18.5	4	30	3	2,032	2	10,756
9月	0	5	-	0	0	1	80	0	10,665
10月	27	435	16.1	33	218	35	54,896	7	6,007
11月	24	441	18.4	33	224	39	41,312	12	6,874
12月	23	414	18.0	34	234	29	25,075	17	4,655
1月	23	312	13.6	24	151	29	21,885	8	4,428
2月	20	183	9.2	15	90	16	10,115	8	3,678
3月	25	342	13.7	23	121	26	25,508	10	5,604
合 計	246	4,040	16.4	286	1,849	341	382,093	119	74,445
累計 (H11.11.11~)	6,216	217,958	35.1	7,564	70,410	16,160	18,342,955	4,240	856,360

別表5

## 令和3年度チャレンジいばらき県民運動 後援事業一覧

番号	後 援 事 業 名	実施日	団 体 名
1	茨城県交通安全母の会連合会決起大会	6月24日	茨城県交通安全母の会連合会
2	令和3年度霞ヶ浦水質浄化ポスターコンクール	10月22日	茨城県霞ヶ浦環境科学センター
3	第26回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会（中止）	10月14日	（社福）茨城県社会福祉協議会
4	いばらき読書フェスティバル2021	11月7日	茨城県立図書館
5	ナイスハートふれあいフェスティバル2021	12月2日 ～12月6日	茨城県保健福祉部障害福祉課
6	令和3年度青少年健全育成茨城県推進大会（中止）	2月8日	（公社）茨城県青少年育成協会
7	常陸国YOSAKOI祭り（第19回YOSAKOI茨城大会）	5月21日 ～5月22日	常陸国YOSAKOI祭り本部委員会

## 令和3年度 歳入歳出決算

(提案理由)

以下のとおり、令和3年度の歳入歳出決算を報告し、議決承認を求めるものであります。

## 1 歳入の部

(単位：円)

項 目	最終予算額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B-A)	備 考
1 会 費	2,314,000	2,326,000	12,000	団体会員会費 (2,240,000 円) 個人会員会費 ( 86,000 円)
2 補助金	24,575,000	24,575,000	0	チャレンジいばらき県民運動補助 (24,575,000 円)
(1) 茨城県	24,575,000	24,575,000	0	
3 委託金	5,324,000	5,323,836	△ 164	
(1) 茨城県	5,223,000	5,222,936	△ 64	交流サルーンいばらき管理運営 (5,103,000 円) 食を通じたエコライフ運動推進事業 (119,936 円)
(2) あしたの日本を創る協会	101,000	100,900	△ 100	生活学校関連事業
4 共催金	1,200,000	1,200,000	0	
(1) げんでんふれあい茨城財団	1,200,000	1,200,000	0	花いっぱい運動定着化促進事業
5 諸収入	575,000	582,158	7,158	利子、交流サルーンの印刷機器等の利用収入等
6 繰越金	4,838,000	4,837,777	△ 223	
計	38,826,000	38,844,771	18,771	

2 歳出の部

(単位：円)

項 目	最終予算額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B-A)	備 考
1 県民活動事業費	11,130,000	10,863,278	△ 266,722	
(1) 幸せ人財育成サポート事業費	3,896,000	3,672,738	△ 223,262	共助社会づくりフォーラム 共助社会づくりを実現するための人材 活用（コミュニティワーク）
(2) 地域の幸せ力アップ事業費	2,404,000	2,399,382	△ 4,618	チャレいば助け合い隊応援事業 花いっぱい運動定着化促進事業
(3) 幸せ発信力アップ事業費	2,631,000	2,592,147	△ 38,853	いばらき幸せ発信事業（広報紙ほか） 一人ひと自慢ひと幸せ発信事業 県民運動PRのための啓発品
(4) ICT活用推進事業費	2,199,000	2,199,011	11	ホームページリニューアル IT活用検討会 ホームページ管理運営
2 地域活動支援事業費	1,414,000	1,336,059	△ 77,941	地域活動団体等情報発信事業 若い世代とつくる新たな地域づくり 地域活動サポート事業
3 NPO等連携協働事業費	6,078,000	6,039,510	△ 38,490	NPO等連携協働促進事業 団体連携事業 交流サークル管理運営
4 運営費	14,845,000	14,737,789	△ 107,211	
(1) 人件費	12,376,000	12,423,679	47,679	事務局4人分
(2) 会議費等	239,000	231,768	△ 7,232	理事会、アドバイザー、推進員の旅費 等
(3) 管理費	2,230,000	2,082,342	△ 147,658	賃借料、電話代、郵送料等
5 予備費	0	0	0	
計	33,467,000	32,976,636	△ 490,364	

歳入決算額 38,844,771 円 - 歳出決算額 32,976,636 円 = 5,868,135 円  
 差引残高 5,868,135 円は、令和 4 年度に繰り越します。




# 監査報告書

令和3年度におけるチャレンジいばらき県民運動の帳簿、証拠書類及び決算書について監査を行った結果、その内容が適正であったことを認めます。

令和4年5月13日

監事

石川 八千代 

監事

松崎 達人 

## 令和4年度事業計画（案）

### 【運営方針】

2020（令和2年）年からの新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛やイベント等の中止などにより、社会・経済活動が大きく制約されたことによる生活困窮世帯の増加や人と人が接触する機会の減少による高齢者の孤立などが社会的課題となり、子ども食堂やフードパントリーなど生活困窮世帯を支援する活動の活発化、孤立を防止するためのオンラインサロンやSNS等を活用した新たな繋がりを形成していくための取組みなど、多様な支援活動が生まれ、地域コミュニティの在り方も大きく変化しているところです。

当団体は、これまで、福祉、環境保全、青少年育成、防犯・防災活動など幅広い分野で県民運動を展開してまいりましたが、このようなコロナ禍で顕在化した新たな課題や、少子高齢化による地域活動の担い手の減少、SDGsへの取組み、ICTを活用した安全安心な生活の確保など、様々な課題を解決していくためには、多様なアイデアが生まれ、果敢にチャレンジできるような環境づくりや共助社会づくりのための人財育成などを積極的に進めていく必要があります。

このため、令和4年度においては、これから社会の新しい力になってみたいと考えている方々が、社会活動の「はじめの一步」をスムーズに踏み出せるよう、既に地域で活動を実践されている方々を講師とした「社会活動デビューセミナー」や、社会活動に向けてのチャレンジ精神の醸成を図りその活動を促進するための「コンテスト」を開催するほか、多くの方々が地域課題の解決に向けてチャレンジできるような取組みを進めてまいります。

また、より多くの方々が、社会活動に関する様々な情報を共有し、連携協働できる体制を構築していくことも重要です。

このため、地域活動員や生活学校、NPO、ボランティア、当団体の会員の皆様などの活動状況をはじめ、各種の助成金情報やボランティアの募集情報等を幅広く収集し、ホームページやSNS、メールマガジン等で発信・提供するなど、地域づくりや社会活動への参加を促進する情報提供機能を強化していくとともに、新たにNPOや地域活動団体を立ち上げたい方々に対する専門的・実践的なアドバイスを行う相談機能を強化することなどにより、日々変化する社会情勢に対応し、地域社会活動を促進するプラットフォームづくりを進めてまいります。

さらに、県民運動を地域全体に普及していくためには、地域活動員や生活学校の方々の地域に根差した自主的な取り組みが更に発展していくことが重要ですので、実践・普及活動に対する支援をはじめ、行政の支援が届きにくい切実な社会ニーズに対応した活動や、企業や大学などと連携した地域貢献活動などに対する支援にも取り組んでまいります。

### 【県民運動の展開】

#### 1 幸せ人財育成サポート

助け合いの精神に基づき、これから地域コミュニティに参画し、新たに活動にチャレンジする人財を発掘・育成してまいります。

- 社会活動の「はじめの一步」を応援するためのセミナー・交流会を開催
- 社会活動に向けたチャレンジ精神の醸成と新たな取り組みを促進するためのコンテストを開催
- 県民の共助意識の醸成を図るフォーラムの開催
- コミュニティワーカーを地域へ派遣し、住民主体による地域課題の解決を支援

#### 2 地域の幸せ力アップ

行政だけでは十分に対応出来ない課題が増えてきていることから、自分たち一人ひとりが地域の担い手として自助努力しながら、かつ、みんなが助け合うことによって課題を解決していけるような県民運動を展開していきます。

- 県内各地において県民運動の実践・普及に努めている地域活動員の活動への支援
- 行政の支援が届きにくい社会的課題の解決に向けた地域活動への支援
- 各地域が抱える身近な地域課題の発見や解決に向け、企業や大学と地域との連携協働をコーディネートし、多様で特色ある取り組みが広がるよう支援

- 生活学校との連携によるエコライフ運動・4R実践活動の推進
- 水質浄化運動やあいさつ・声かけ運動により、地域環境の保全や青少年の健全育成を推進

### 3 幸せ発信力アップ

県民一人ひとりが郷土に愛着と誇りを持てるよう、ホームページ等を活用して魅力的な地域資源や地域での活動情報を発信するなど、本県の魅力向上に取り組みます。

- 地域資源の発見・発信強化
  - ・地域活動員等を通じた地域資源の発見とインターネットを活用した紹介
- 各種媒体を活用し地域で輝く人及び活動情報を紹介
  - ・公式サイトやSNSなどの情報発信ツールを活用し、チャレンジいばらき県民運動の事業や、会員企業・団体、ネットワーカー等連絡協議会の活動情報などを紹介
  - ・広報紙「ちゃれいばレター」の発行、メールマガジンの配信

### 4 ICTを活用した県民運動の推進

コロナ禍により新しい生活様式が定着し、リアルな活動が制限される中、今後の県民運動の展開に当たっては、より一層ICTの活用が求められることから、ネットワーカーや地域で活動する方々のICTスキルの向上を支援することによって、活動領域の拡大や地域コミュニティの活性化を図ります。

### 5 プラットフォーム機能の強化

地域社会を取り巻く状況が大きく変化している中、様々な地域課題を解決するため、県民、NPO、企業・団体、行政など多様な主体の連携協働を促進するとともに、地域活動を始めるための支援や活動を充実・拡充していくための支援など、プラットフォーム（共通基盤）としての機能を強化してまいります。

#### (1) 情報提供や相談体制の充実などマッチング機能の強化

- 会員の社会貢献活動や地域活動団体のイベント情報などを幅広く収集し、ホームページやメールマガジン等で紹介することにより、活動希望者への動機付けを図る。
- 地域活動団体データベースや相談体制の充実を図ることにより、希望する活動に従事できるようマッチング機能を強化する。

#### (2) 会員登録制クラブの新設

地域活動を通じて社会貢献をしたいと考えている方々を対象に、会員登録制（無料）のクラブを新設し、情報収集や仲間づくりが出来るよう、メールマガジンの配信により各種セミナーやイベント・助成金情報等を提供します。

#### (3) 地域活動を応援する専門家（サポーターの新設）

地域活動を行うに当たっての様々な相談に対応するため、各分野の専門家を社会活動支援サポーターとして新たに設置します。

#### (4) NPO等の立ち上げ支援等

- NPO法人設立説明会の開催
- NPO組織基盤強化セミナーの開催
- 地域円卓会議の開催
- 定期相談会の開催

#### (5) 「交流サルーンいばらき」における地域活動支援

NPOや地域活動団体等が主体的に活動し、交流を促進するため、交流サルーンいばらきにおいて、講座（「寺子屋サルーン」）の開催、会議室の無料開放や低料金による印刷機器の利用サービスを行います。

第4号議案

## 令和4年度 歳入歳出予算（案）

（提案理由）

別記のとおり、令和4年度歳入歳出予算を提案し、議決承認を求めるものであります。

## 別記

## 令和4年度 歳入歳出予算 (案)

## 1 歳入の部

(単位：千円)

項目	当初予算額 (A)	前年度当初 予算額(B)	増減額 (A-B)	備考
1 会費	2,430	2,778	△ 348	
(1) 会費	2,330	2,330	0	組織会員会費 (233 団体：2,330 千円)
(2) 賛助金	100	448	△ 348	個人会員 (賛助会費) 納入見込 (50 人：100 千円) <増減要因> ・賛助会費納入減 (△ 348 千円)
2 補助金	27,575	27,575	0	
(1) 茨城県	27,575	27,575	0	チャレンジいばらき県民運動補助
3 委託金	5,303	5,503	△ 200	
(1) 茨城県	5,303	5,303	0	交流サルーン管理運営委託 (5,103 千円) 食を通じたエコライフ運動事業委託 (200 千円)
(2) あしたの日本を創る協会	0	200	△ 200	<増減要因> ・団体連携事業費 (生活学校連携費) 見直しによる減 (200 千円)
4 共催金	1,200	1,200	0	
(1) げんでんふれあい茨城財団	1,200	1,200	0	花壇定着化促進事業
5 諸収入	600	600	0	利子 等
6 繰越金	5,868	4,850	1,018	
計	42,976	42,506	470	

## 2 歳出の部

(単位：千円)

項目	当初予算額 (A)	前年度当初 予算額(B)	増減額 (A-B)	備考
1 県民活動事業費	16,550	16,700	△ 150	
(1) 幸せ人財育成サポート事業費	7,500	4,500	3,000	・【継続】 共助社会づくりフォーラム (300 千円) ・【新規】 社会活動デビュー支援事業 (7,000 千円) ・【継続・見直し】 共助社会を実現するための人財活用 (コミュニティワーカー派遣事業) 200 千円 【増減原因】 ・社会活動デビュー支援事業の増 (7,000 千円) ・共助社会づくりフォーラムの減 (△ 200 千円) ・共助社会を実現するための人財活用の減 (△ 3,800 千円)
(2) 地域の幸せ力アップ事業費	4,000	3,700	300	・【継続・拡充】 チャレいばらき助け合い隊応援事業 (2,500 千円) ・【継続】 花壇定着化促進事業 (1,500 千円) 【増減要因】 ・チャレいばらき助け合い隊応援事業の増 (300 千円)
(3) 幸せ発信力アップ事業費	3,000	5,900	△ 2,900	・【継続】 一人ひと自慢ひと幸せ発信運動 (ふるさと自慢) (50 千円) ・【継続】 いばらき幸せ発信事業 (広報紙作成) (2,000 千円) ・【継続・見直し】 県民運動PRのための啓発品等 (950 千円) 【増減要因】 ・県民運動PRのための啓発品の減 (△ 2,900 千円)
(4) ICT活用推進事業費	2,050	2,600	△ 550	・【継続】 IT活用検討 (150 千円) ・【継続】 ホームページ修理・保守管理費 (1,900 千円) 【増減要因】 ・IT活用検討の増 (100 千円) ・ホームページリニューアルの減 (△ 2,000 千円) ・ホームページ修正・保守管理の増 (1,350 千円)
2 地域活動支援事業費	2,050	2,500	△ 450	・【継続】 若い世代とつくる新たな地域づくり (大学等との連携費用) 600 千円 ・【継続】 地域活動団体情報発信事業 (150 千円) ・【継続】 地域活動サポート事業 (旧：NW活動推進費、NW助成金) 1,300 千円 【増減要因】 ・若い世代とつくる新たな地域づくりの減 (△ 250 千円) ・地域活動サポート事業の減 (△ 200 千円)
3 NPO等連携協働事業費	7,200	7,400	△ 200	・【継続・見直し】 NPO等連携協働促進事業費 (円卓会議・NPO法人説明会・定期相談会等) 900 千円 ・【継続・見直し】 団体連携事業費 300 千円 (生活学校連携費 200 千円、他団体連携費 100 千円) ・【継続・見直し】 交流サルーン管理運営費 6,000 千円 (委託費 5,103 千円、運営費 897 千円) 【増減要因】 ・団体連携事業費 (生活学校連携費) の減 (△ 200 千円) ・NPO等連携協働促進事業 (定期相談会) の増 (600 千円) ・交流サルーン管理運営費 (定期相談会) の減 (△ 600 千円)
4 運営費	16,176	14,906	1,270	
(1) 人件費	12,500	11,400	1,100	専務理事 1 名 + 事務局 3 人分
(2) 会議費等	400	400	0	理事会、アドバイザー会議、推進員会議、研修費等
(3) 管理費	3,276	3,106	170	賃貸料、消耗品、印刷製本費、電話代、郵送料 など
5 予備費	1,000	1,000	0	
計	42,976	42,506	470	

## 役員を選任（案）について

（提案理由）

理事3名、監事1名の退任に伴い、チャレンジいばらき県民運動規約第5条の規定により、補充役員の選任を求めるものであります。

任期：令和5年度総会開催時まで

役職名	氏名	所属等
理事	内田和子	茨城県学校長会会長
	小川一成	茨城産業会議議長
	川股圭之	茨城県県民生活環境部長
監事	折笠修平	茨城県都市教育長協議会副会長

## チャレンジいばらき県民運動役員等一覧

### 【役員】

役職名	氏名	所属等
理事長	阿部 真也	茨城県中小企業団体中央会会長
副理事長	幡谷 定俊	茨城トヨペット株式会社代表取締役社長
専務理事	斎田 陽介	チャレンジいばらき県民運動
理事	青木 恭代	茨城県生活協同組合連合会副会長理事
	阿部 重典	株式会社茨城放送 代表取締役社長
	安藤 聖志	守谷市ネットワークー連絡協議会会長
	飯田 哲雄	茨城県自治会連合会会長
	池田 馨	特定非営利活動法人ひと・まちなつとわーく理事長
	内田 和子	茨城県学校長会会長
	海野 雅文	茨城県農業協同組合中央会総務企画部長
	小川 一成	茨城産業会議議長
	川崎 篤之	株式会社いばらきスポーツタウン・マネジメント 代表取締役社長・ゼネラルマネージャー
	川股 圭之	茨城県県民生活環境部長
	佐藤 弘子	公益財団法人茨城県老人クラブ連合会常任理事兼女性 委員会委員長
	鈴木 恵子	茨城県交通安全母の会連合会副会長
	中村 久子	茨城県生活学校連絡会副会長
	沼田 安広	株式会社茨城新聞社代表取締役社長
	林 由香里	茨城県地域女性団体連絡会広報委員長
	堀井 武重	環境保全茨城県民会議副議長
	松橋 裕子	一般社団法人茨城県女性起業家支援ネットワーク代表理事
	松本 英子	公益社団法人茨城県青少年育成協会副会長
	三ツ堀 裕太	株式会社ユニキャスト代表取締役
	村田 みのり	公益財団法人茨城県国際交流協会理事
森戸 久雄	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会会長	
吉野 寛美	茨城県消費者団体連絡会副会長	
鷺田 美加	株式会社RION代表取締役	
監事	折笠 修平	茨城県都市教育長協議会副会長
	松崎 達人	茨城県県民生活環境部次長

### 【顧問・参与】

役職名	氏名	所属等
顧問	大井川 和彦	茨城県知事
参与	山口 伸樹	茨城県市長会会長
	染谷 森雄	茨城県町村会会長

## チャレンジいばらき県民運動 規約

(名 称)

第1条 この会は、チャレンジいばらき県民運動（以下「当会」という。）という。

(目 的)

第2条 当会は、やさしさとふれあいのある茨城づくりと県民運動を通しての新しい茨城のイメージづくりをめざすとともに、県民一人一人が幸せを実感でき、共助による新しい茨城の実現を目指し、県民の主体的な県民運動を推進することを目的とする。

(構 成)

第3条 当会は、前条の目的に賛同する市町村県民運動推進組織、広域的・機能別県民運動団体、地域活動団体、企業、大学、市町村及び県（以下「団体等」という。）で構成する。

(事 業)

第4条 当会は、第2条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 県民運動の推進方策の企画・立案及び推進に関すること
- (2) 県民運動関係団体との連携・支援に関すること
- (3) 地域活動員（ネットワーク）の委嘱及び活動促進に関すること
- (4) 生活学校・生活会議の育成に関すること
- (5) 県民運動に関する情報・資料の収集及び提供に関すること
- (6) 県民運動の奨励及び表彰に関すること
- (7) 県民運動の広報・啓発に関すること
- (8) 県民運動に関する調査研究に関すること
- (9) その他、目的達成に必要な事業

(役 員)

第5条 当会に次の役員を置く。

- (1) 理事長 1 名
- (2) 副理事長 若干名
- (3) 専務理事 1 名
- (4) 理 事 30名以内（理事長、副理事長及び専務理事を含む。）
- (5) 監 事 2 名

2 理事及び監事は総会で選任する。

3 理事長、副理事長及び専務理事は、理事会において互選する。

(役員の仕事)

第6条 理事長は、当会を代表し会務を総括する。

2 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるときは、その職務を代行する。

3 専務理事は、理事長及び副理事長を補佐し、当会の会務を処理する。

4 理事は、理事会を構成し、必要な事項を審議する。

5 監事は、会計その他の事務を監査する。

(役員の仕事)

第7条 役員の仕事は、2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 補欠のため（定数の増加に伴う補充も含む。）選任された役員の仕事は、前任者の残任期間とする。



(顧問及び参与)

第8条 当会に顧問及び参与を置くことができる。

- 2 顧問及び参与は、理事長が委嘱する。
- 3 顧問及び参与は、重要事項について理事長の諮問に応じる。

(アドバイザー)

第9条 当会にアドバイザーを置く。

- 2 アドバイザーは、理事長が委嘱する。
- 3 アドバイザーは、県民運動の推進方策の企画・立案に助言する。

(会議)

第10条 当会の会議は、総会、理事会とする。

- 2 総会は、第3条に規定する団体等の代表者で構成し、理事長が招集する。
- 3 総会は、理事長が議長となり、次の事項を審議決定する。
  - (1) 規約の制定及び改廃に関する事
  - (2) 事業計画に関する事
  - (3) 予算及び決算に関する事
  - (4) 理事及び監事の選任に関する事
  - (5) その他重要事項に関する事
- 4 理事会は、理事長が招集して議長となり、次の事項を審議決定する。
  - (1) 総会への付託事項に関する事
  - (2) 団体等の入会に関する事
  - (3) 県民運動の推進方策に関する事
  - (4) 会務の執行に関する事
  - (5) その他必要と認められる事項に関する事
- 5 会議は、構成員（総会の場合は第3条に規定する団体等の代表者、理事会の場合は理事）の2分の1以上の出席をもって成立する。
- 6 会議の議事は、出席者の過半数で決定し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 7 やむを得ない理由により会議に出席できない構成員は、他の構成員を代理人として表決を委任することができる。この場合、会議に出席したものとみなす。

(書面又は電磁的方法による審議)

第11条 理事長は、必要があると認めるときは、書面又は電磁的方法をもって理事の意見を求めて、理事会の議決に代えることができる。

- 2 理事長は、必要があると認めるときは、書面又は電磁的方法をもって第3条に規定する団体等の代表者の意見を求めて、総会の議決に代えることができる。

(理事長の専決)

第12条 理事長は、総会が招集されるいとまのない場合は、理事会に諮りこれを専決処分することができる。

- 2 理事長は、前項の規定により専決処分したときは、次の総会に報告しなければならない。

(グループの設置)

第13条 当会の事業を効果的かつ円滑に推進するためグループを置く。

- 2 グループにグループリーダーを置く。
- 3 グループに必要な事項は、理事会に諮って理事長が別に定める。

(グループリーダー・アドバイザー会議)

第14条 県民運動の推進方策の企画・立案及び推進のためグループリーダー・アドバイザー会議（以下「グループリーダー会議」という。）を設ける。

2 グループリーダー会議に必要な事項は、理事会に諮って理事長が別に定める。

(個人会員)

第15条 当会の目的に賛同し、その活動に参加、協力する個人は、個人会員となることができる。

2 個人会員は、賛助会員とする。

3 その他必要な事項は、理事長が別に定める。

(会計)

第16条 当会の経費は、会費、補助金、委託金、共催金、賛助金、その他の収入をもって充てる。

2 団体等は、原則として年額一口1万円とする。

3 個人会員の賛助金は、原則として年額一口2千円とする。

4 当会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(事務局)

第17条 当会の事務を処理するため、当分の間、事務局を茨城県県民生活環境部女性活躍・県民協働課内に置く。

2 事務局の規程は、理事長が別に定める。

(その他)

第18条 この規約に定めるもののほか、当会の運営に関し必要な事項は、理事長が定める。

付 則

この規約は、平成30年5月29日から施行する。

付 則

この規約は、令和3年6月11日から施行する。

## チャレンジいばらき県民運動 グループ設置要項

### (設置の目的)

第1条 チャレンジいばらき県民運動の事業を効果的かつ円滑に推進するため、チャレンジいばらき県民運動規約（以下「規約」という。）第13条の規定に基づき、次のグループを置く。

- (1) 人財サポートグループ
- (2) 地域活動支援グループ
- (3) 魅力発見・発信グループ
- (4) IT活用グループ

### (分掌事項)

第2条 グループの分掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 人財サポートグループ
  - ①次世代を担う人財づくりの運動に関する事。
  - ②豊かさを誇れる人財づくりの運動に関する事。
- (2) 地域活動支援グループ
  - ①共助による新しいコミュニティづくりの運動に関する事。
  - ②住み続けたいくなるまちづくりの運動に関する事。
- (3) 魅力発見・発信グループ
  - ①魅力発見・発信の運動に関する事。
  - ②ITの普及に関する事。
- (4) IT活用グループ
  - ①ITを活用した県民運動の検討に関する事。
  - ②各グループの横断的な支援に関する事。

### (構成員)

第3条 グループ分掌事項実施のため県民活動推進員（以下「推進員」という。）を選任する。

- 2 推進員は、学識経験者、有識者、県民運動実践者及び行政に携わる者のうちから、理事会に諮って理事長が選任する。
- 3 推進員の人数は40名程度とする。
- 4 推進員は、原則として第2条のいずれかのグループに所属するものとする。

### (推進員の任期)

第4条 推進員の任期は1期2年とし、再任を妨げない。

- 2 補欠のため（定数の増加に伴う補充を含む）選任された推進員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (ゼネラルマネージャー)

第5条 各グループの調整役として、ゼネラルマネージャー（以下「GM」という。）を置くことができる。

- 2 GMは、推進員のうちから事務局長が選任する。
- 3 GMの任期は1年とし、再任を妨げない。

(グループの役員)

第6条 グループの役員として、グループリーダー（以下「リーダー」という。）及びサブリーダーを置く。

- 2 グループの役員は、各グループにおいて互選する。
- 3 リーダーは、グループを代表し、グループの会務を総括する。
- 4 サブリーダーは、リーダーを補佐し、リーダーに事故があるとき若しくはリーダーが欠けたときは、その職務を代行する。
- 5 各グループの役員の任期は1年とし、再任を妨げない。

(会 議)

第7条 グループ会議はリーダーが招集し、会議の議長となる。

(その他)

第8条 この要項に定めのあるもののほか、グループの運営に関して必要な事項は、理事長が別に定める。

付 則

- 1 この要項は、平成30年7月3日から施行する。
- 2 旧県民運動推進委員の残任期間は、第4条の規定にかかわらず、これを引き継ぐものとする。

付 則

この要項は、令和2年3月24日から施行する。

## チャレンジいばらき県民運動 グループリーダー・アドバイザー会議設置要項

(設置の目的)

第1条 県民運動の推進方策の企画・立案の及び推進のためグループリーダー・アドバイザー会議（以下「グループリーダー等会議」という。）を置く。

(構成員)

第2条 グループリーダー等会議の構成員は、チャレンジいばらき県民運動規約（以下「規約」という。）第9条に規定するアドバイザー及び規約第13条に規定するグループリーダーとする。

(会議)

第3条 グループリーダー等会議は、事務局長が招集し、会議の議長となる。

(その他)

第4条 この要項に定めのあるもののほか、グループリーダー等会議の運営に関して必要な事項は、理事長が別に定める。

附 則

この要項は、平成30年7月3日から施行する。

## チャレンジいばらき県民運動 会員名簿

令和 4 年 5 月 1 日現在

〔会員数総括表〕

区 分	会 員 数
市町村県民運動推進組織	4
県域団体	81
企 業	103
市町村会員	44
県	1
合 計	233

個人会員	212 人
------	-------

## 市町村推進組織（４）

1	小美玉市まちづくり組織連絡会
2	高萩市市民憲章推進協議会

3	土浦市まちづくり市民会議
4	水戸市住みよいまちづくり推進協議会

## 団体（81）

1	NPO 法人アスク
2	「茨城アジア教育基金」を支える会
3	茨城空港利用促進等協議会
4	（一社）茨城県安全運転管理協会
5	（一社）茨城県医師会
6	（公社）茨城県栄養士会
7	（公財）茨城県開発公社
8	（公財）茨城県学校給食会
9	茨城県学校長会
10	（一社）茨城県環境管理協会
11	（一財）茨城県環境保全事業団
12	（公社）茨城県看護協会
13	（一社）茨城県経営者協会
14	（一財）茨城県建設技術公社
15	（一社）茨城県建築士会
16	（一社）茨城県建築土木事務所協会
17	（一社）茨城県高圧ガス保安協会
18	（一財）茨城県交通安全協会
19	茨城県高等学校長協会
20	茨城県高等学校PTA連合会
21	（公財）茨城県国際交流協会
22	茨城県国民健康保険団体連合会
23	（公社）茨城県歯科医師会
24	茨城県自治会連合会
25	茨城県市長会・町村会
26	茨城県自動車販売店交通安全対策推進協議会
27	茨城県社会教育振興協議会
28	（社福）茨城県社会福祉協議会
29	茨城県商工会議所女性会連合会
30	茨城県商工会議所青年部連合会
31	茨城県商工会議所連合会
32	茨城県商工会女性部連合会
33	茨城県商工会青年部連合会
34	茨城県商工会連合会
35	茨城県少年団体連絡協議会
36	茨城県消費者団体連絡会
37	茨城県食生活改善推進員協議会
38	（公社）茨城県食品衛生協会
39	（公財）茨城県スポーツ協会
40	茨城県生活学校連絡会
41	茨城県生活協同組合連合会
42	（公社）茨城県青少年育成協会
43	茨城県青年団体連盟
44	茨城県セーリング連盟
45	（一社）茨城県造園建設業協会
46	茨城県地域女性団体連絡会
47	茨城県中小企業団体中央会
48	茨城県庁生活協同組合
49	茨城県土地改良事業団体連合会
50	茨城県農業協同組合中央会

51	茨城県農業法人協会
52	茨城県PTA連絡協議会
53	茨城県保育協議会
54	茨城県民間保育協議会
55	（公社）茨城県薬剤師会
56	茨城県幼少年婦人防火委員会
57	（公社）茨城県臨床検査技師会
58	（公財）茨城県老人クラブ連合会
59	いばらきコープ生活協同組合
60	茨城産業会議
61	茨城ダルク今日も一日ハウス
62	茨城文化団体連合
63	NPO法人エコグリーンいばらき
64	NPO法人エコレン
65	かいつむりの会
66	笠間稲荷神社
67	霞ヶ浦問題協議会
68	環境保全茨城県民会議
69	学校法人木村学園 石岡幼稚園
70	NPO法人障害者雇用促進協会
71	（社福）自立奉仕会
72	生活協同組合パルスシステム茨城 栃木
73	生活支援ネットワーク・介護セブン
74	（社福）聖隷会 しらゆり保育園
75	鱸づな会
76	NPO法人日本スポーツ振興協会
77	（公社）日本青年会議所関東地区茨城ブロック協議会
78	ひたちなかユネスコ協会
79	NPO法人ひと・まちなつとわーく
80	（社福）芳香会
81	NPO法人ほかほかくらぶ

企業 (103)

1	(株)秋山工務店
2	(株)あけぼの印刷社
3	アサヒビール(株)茨城工場
4	イオンリテール(株)北関東カンパニー茨城事業部
5	(株)石川工業所
6	茨城いすゞ自動車(株)
7	茨城県信用組合
8	茨城ケント販売(株)
9	茨城工芸産業(株)
10	茨城交通(株)
11	(株)茨城新聞社
12	茨城水産(株)
13	茨城倉庫(株)
14	茨城トヨタ自動車(株)
15	茨城トヨペット(株)
16	茨城日産自動車(株)
17	(株)茨城放送
18	(株)茨城ポートオーソリティ
19	(株)ウライ文具
20	ウルノ商事(株)
21	NTT 東日本(株)茨城支店
22	(株)大塚製作所
23	大富印刷(株)
24	(株)笠間印刷所
25	鹿島都市開発(株)
26	鹿島埠頭(株)
27	鹿島臨海工業地帯企業連絡協議会
28	鹿島臨海鉄道(株)
29	(株)カスミ
30	株木建設(株)茨城本店
31	関東印刷(株)
32	(株)木内酒造 1823
33	(株)きど印刷所
34	キリンビール(株)取手工場
35	(株)ケーズホールディングス
36	(株)鯉淵工業
37	(有)こうじや
38	(株)光和印刷
39	コスモ総合建設(株)
40	(株)寿
41	(株)笹目宗兵衛商店
42	JX 金属(株)
43	(株)ジョイフル本田
44	(株)常陽銀行
45	常洋水産(株)
46	昭和建設(株)
47	鈴縫工業(株)
48	(医) 青藍会 大場内科クリニック
49	(医) 聖和会 つくば病院
50	(株)セイワ食品
51	関彰商事(株)
52	損害保険ジャパン (株)
53	(株)タイハイ
54	(株)高野高速印刷
55	(株)タナカ
56	(株)田中企画 水戸営業所
57	(株)月の井酒造店
58	(株)筑波学園ホテル
59	(株)筑波銀行
60	(株)つくば研究支援センター

61	(株) デベロ
62	東京海上日動火災保険(株)茨城自動車営業部営業部第1課
63	(有)東京総合染色
64	(株)東京電機
65	(株)トピタ文具
66	トヨタL&F茨城(株)
67	(株)トヨタレンタリース茨城
68	(株)仲川建設
69	中川ヒューム管工業(株)
70	(株)奈良屋
71	(株)西山工務店
72	日東電気(株)
73	日東メンテナンス(株)
74	日本放送協会 水戸放送局
75	(株)日本クリエイート茨城
76	日本原子力発電(株)東海事業本部地域共生部茨城事務所
77	日本たばこ産業(株)関東支社
78	(株)沼田機業
79	(株)ヌマタ商事
80	ネットトヨタ水戸(株)
81	ハタヤ商事(株)
82	(株)幡谷本店
83	(株)日立製作所
84	日立セメント(株)
85	(株)広沢本社
86	(株)フジタビジネスマシンズ
87	(株)富士菱
88	(株)双葉
89	(株)ヘレナメディアリサーチ
90	北越コーポレーション(株)関東工場
91	ホテルレイクビュー水戸
92	(株)水戸京成百貨店
93	水戸京成ホテル(株)
94	(有)水戸山翠商事
95	水戸自動車工業(株)
96	水戸信用金庫
97	水戸中央青果(株)
98	水戸ヤクルト販売(株)
99	(有)ミノワ印刷
100	明利酒類(株)
101	八幡印刷(株)水戸営業所
102	結城信用金庫
103	(株)竜ヶ崎自動車教習所



## 市町村 (44)

1	水戸市
2	日立市
3	土浦市
4	古河市
5	石岡市
6	結城市
7	龍ヶ崎市
8	下妻市
9	常総市
10	常陸太田市
11	高萩市
12	北茨城市
13	笠間市
14	取手市
15	牛久市
16	つくば市
17	ひたちなか市
18	鹿嶋市
19	潮来市
20	守谷市
21	常陸大宮市
22	那珂市

23	筑西市
24	坂東市
25	稲敷市
26	かすみがうら市
27	桜川市
28	神栖市
29	行方市
30	銚田市
31	つくばみらい市
32	小美玉市
33	茨城町
34	大洗町
35	城里町
36	東海村
37	大子町
38	美浦村
39	阿見町
40	河内町
41	八千代町
42	五霞町
43	境町
44	利根町

## 県 (1)

1	茨城県 (女性活躍・県民協働課)
---	------------------

## チャレンジいばらき県民運動 アドバイザー名簿

令和4年4月1日現在

氏名	所属	分野	備考
1 川崎 篤之	株式会社いばらきスポーツタウン・マネジメント	地域活動支援	企業・大学との連携
2 菊池 一俊	一般社団法人カミスガプロジェクト	地域活動支援	企業・大学との連携
3 助田 徹臣	いばらき広報戦略アドバイザー	魅力発見・発信	広報スタイル
4 松橋 裕子	一般社団法人茨城県女性起業家支援ネットワーク	地域活動支援	若い世代の参加促進
5 三ツ堀 裕太	株式会社ユニキャスト	魅力発見・発信	I T活用
6 横須賀 聡子	特定非営利活動法人セカンドリーグ茨城	地域活動支援	新しい共助社会づくり
7 鷺田 美加	株式会社R I O N	地域活動支援	若い世代の参加促進

## チャレンジいばらき県民運動 県民活動推進員名簿

令和4年4月1日現在

番号	氏名	所属等	期数	備考
1	荒原 恵子	延方生活学校	1期	
2	飯村 歳永	ひたちなか市ネットワーカー連絡協議会	4期	
3	井川 健一	CoderDojo Mito	3期	
4	池田 智子	大子町ネットワーカー協議会	5期	
5	井坂 英二	小美玉ネット	4期	ゼネラルマネージャー
6	井坂 寛	茨城県生活協同組合連合会	2期	
7	石崎 重昭	常陸大宮市ネットワーカー協議会	1期	
8	石澤 成浩	守谷市ネットワーカー連絡協議会	1期	
9	大枝 久忍子	一般社団法人ガールスカウト茨城県連盟	1期	
10	大久保 昌義	茨城県ユースホステル協会	4期	
11	川上 正廣	那珂市ネットワーカー連絡協議会	5期	
12	菊地 寿代	チャレンジかさまネットワーカー連絡協議会	4期	
13	小坏 明美	水戸市地域女性団体連絡会	2期	
14	菅谷 京子	なめがたネットワーカー連絡協議会	3期	
15	高野 サタコ	下妻生活学校	2期	
16	高橋 正道	水戸市環境保全会議	4期	
17	寺内 義興	日本ボーイスカウト茨城県連盟	4期	
18	中野 肇男	特定非営利活動法人ひと・まちなつとわーく	1期	
19	中村 久子	取手生活学校	2期	
20	福原 千穂子	茨城町ネットワーカー等連絡協議会	5期	
21	福間 智子	メサフレンドシップ	3期	
22	吉川 勲	日本ボーイスカウト茨城県連盟	1期	

## チャレンジいばらき県民運動 地域活動員設置要綱

### (設 置)

第1条 県民運動を各地で広げ、地域の人たちのネットワークづくりに取り組み、住みよい茨城づくりを進めるため、地域活動員（以下「ネットワーカー」という。）を設置する。

### (要 件)

第2条 ネットワーカーは、県民運動の理念に基づき、各種の県民運動に取り組むことができる者とする。

2 ネットワーカーは、市町村長からの推薦を受けた者とする。

### (委 嘱)

第3条 ネットワーカーは、市町村長から推薦を受け、理事長が委嘱する。

2 委嘱期間は3年として、再任を妨げない。

3 理事長は、委嘱期間中であっても、ネットワーカーが不適任であると認めるときは、その委嘱を解くことがある。

### (役 割)

第4条 ネットワーカーの役割は、次のとおりとする。

- (1) 県民運動の趣旨や情報を地域に発信すること
- (2) 県民運動に参加し、普及に努めること
- (3) 地域活動を実践し、普及に努めること
- (4) 地域活動の調整に努めること

### (その他)

第5条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

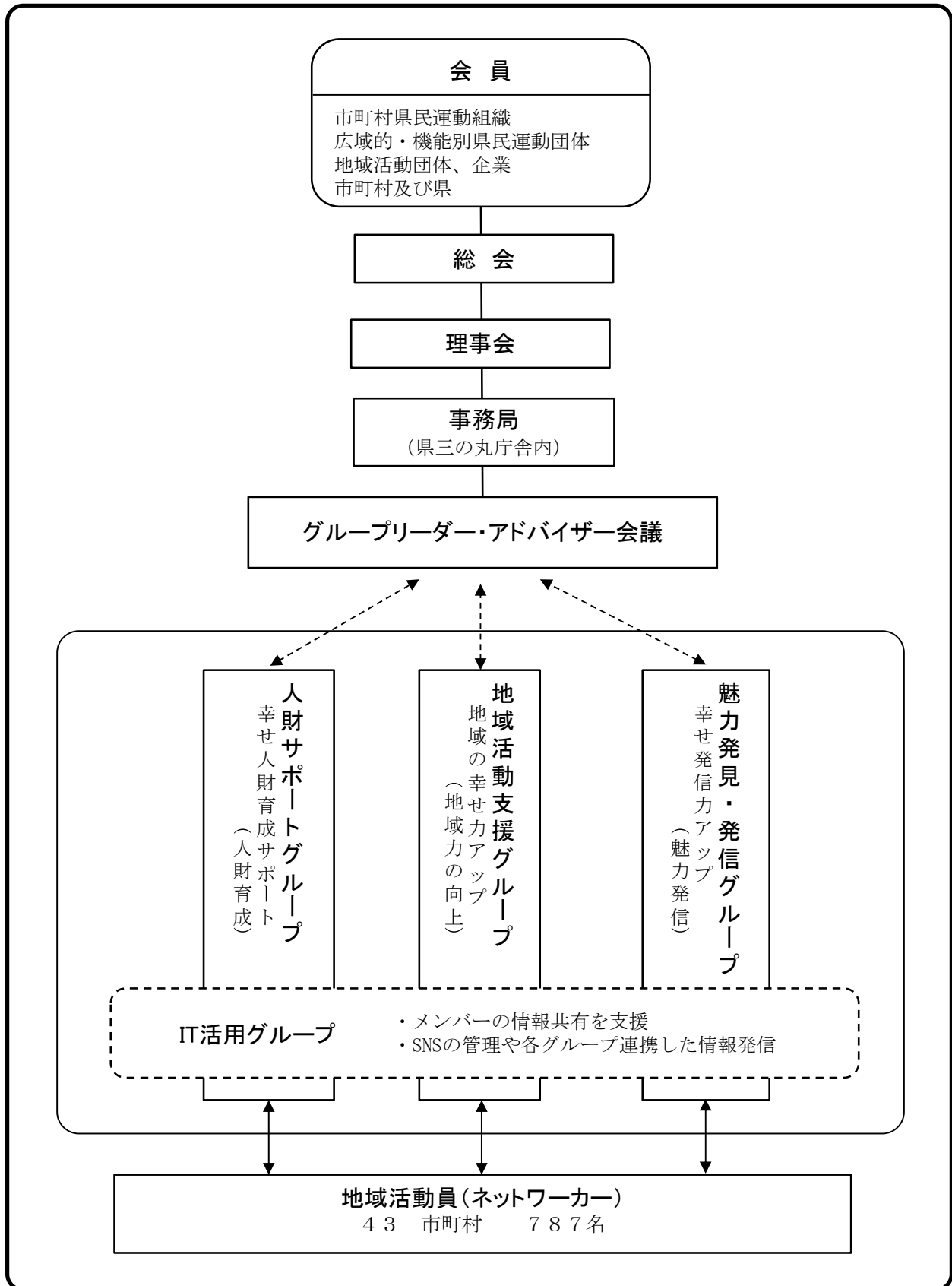
### 附 則

この要綱は、平成8年4月1日から適用する。

この要綱は、平成30年5月29日から施行する。

この要綱は、令和3年6月11日から施行する。

## チャレンジいばらき県民運動 組織体系図





## チャレンジいばらき県民運動

事務局：〒310-0011

水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎 2階

TEL：029-224-8120

FAX：029-233-0030

ホームページURL：<https://challenge-ibaraki.jp>

Eメールアドレス：[info@challenge-ibaraki.jp](mailto:info@challenge-ibaraki.jp)